

様式（評価結果の公表）

評価結果調書

1 対象事業の特定

項目	内容
事業名	吹田市立小・中学校特別教室等空調設備整備事業
担当部署	学校教育部 学校管理課
事業目的	小・中学校の特別教室等に早期に空調設備を整備することにより、教育環境の向上を図る。
事業内容	市立小・中学校全 54 校の特別教室等 520 室程度に空調設備を整備し、併せて整備後の維持管理を行う。
採用手法	BTO方式（PPP/PFI手法）

2 評価結果

<p>(1) 詳細な検討における評価</p> <p>比較した事業方式：従来型手法、DBO方式、BTO方式、リース方式</p> <p><比較条件></p> <p>事業範囲：空調設備等の設計、施工、工事監理、維持管理</p> <p>事業期間：設計・施工期間 令和3年1月～令和3年8月（令和3年度2学期供用開始） 維持管理期間 供用開始後～令和15年度</p> <p>(2) BTO方式の選定理由</p> <p>同種事業の先行事例においては、BTO方式を導入し財政負担削減が達成されており、本事業についてもBTO方式を導入した場合、VFMは約2.8%となり、従来型手法と比較して市の財政負担削減に寄与することが確認できた。</p> <p>これに加え、BTO方式は定性的にも、「空調設備の全校一括整備」「市の財政負担平準化」「リスク移転」等、数多くのメリットがある。また、本事業にBTO方式を導入する場合に、本事業への参画に積極的な関心を示す民間企業が市内・市外ともに多くあることを確認できた。</p> <p>以上を踏まえ、従来型手法、DBO方式及びリース方式と比較し、BTO方式の導入が適切であると総合的に評価し、本事業を実施する方式として選択する。</p>
